

2月14日（月）全校朝会

まず、初めに元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。今日は、5年1組の教室からお送りします。

2月は、ふれあい月間です。各学級では、いじめに関するアンケート調査を行います。校長先生も、北ノ台小学校に通うすべての子供たちが、いやな思いをすることなく、ごきげんな学校生活を送ってほしいと願っています。

そこで、今日は大切にしてほしい言葉についての話をします。その言葉は、難しい漢字ですよ。読めるでしょうか。「七」、これは読めますね、「なな」です。次は「思」、送り仮名「う」を付けると、「おもう」と読めますね。それでは、この二つが入ったこの漢字「慮」、読めるでしょうか。送り仮名は、「る」です。「慮る」、これは難しそうですね。「おもんぱかる」と読みます。漢字一文字で「おもんぱか」と読むなんて、なんだかすごくないですか。「慮る」の意味は、「よくよく考える。思いめぐらす。」という意味です。「友達の気持ちを慮る。」といった使い方をします。「思いやり」にも近いですね。この漢字は難しいですから、読むことができるだけでも立派ですが、実際に「慮る」ことができる人は、もっと立派ですよ。友達の気持ちをよくよく考えたり、思いをめぐらしたりすることができれば、いじめなどが起こることはないはずですよ。ぜひ、皆さんには、友達の気持ちを慮ることができる人になってほしいと思います。



2月はふれあい月間ですので、今日は、人を思いやること、人の気持ちをよくよく考えるという意味で使う「慮る」という漢字についての話をしました。お話を終わります。

\*参考：調布市立滝坂小学校長 小林美也子 校長講話